

なんも・なんも 17号

石山・澄川・芸術の森地区

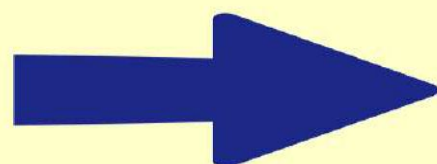
老人クラブで
スクールガード?!

石山地区
老人クラブ 石山七宝会の取り組み



七宝会で作成したオレンジ色の「**石山七宝会見守り隊**」のベストを着用し、小学生や中学生、高校生などの登下校を見守っています。完全有志で活動しており、会員44名中23名ほどが参加しています。全員が毎日参加するのではなく、シフトを作成し共有。また、欠席連絡も特に必要なく行ける時間帯に参加が可能！毎日参加している方がさりげなく出欠を把握していることから、強制することのない活動が実現されています。

詳しくは次のページ



老人クラブでできること

☑ なぜ町内会ではなく老人クラブで行うことに？



コロナ禍で様々な活動、特に集まることを制限されたことで、このままだと家に引きこもってしまう会員が多くなるのではないかと懸念。なんとか顔を合わせられる機会がないか検討したところ、地域の子もたちを見守ることが出来る、さらに会員同士顔を合わせることができる“スクールガード”を行ってみてはどうかと意見があり、令和4年3月に当時の老人クラブ会長と総務部長等で話し合い、実験的に活動。

同年4月、老人クラブの総会で承認され、学校へは直接相談、地域へは回覧板にて周知し、正式に七宝会としてスクールガード活動を行うことが決定！

☑ 活動からみえてくること

子どもたちが積極的に挨拶してくれるようになったり、下校中は一緒にじゃんけんをするなど、遊び感覚でコミュニケーションを図ることが出来るように。さらに、熊や不審者の情報が入ったときは学校側による一斉下校が実施され、学校の先生方と関わる機会も増えてきたそうです。オレンジのベストを着用しながら見守ることで地域の方の不安感もなく、安心して活動を見守ってくれていることを実感。会員同士の顔を見ることで安心し、エネルギーあふれる子どもたちと関わることで元気をもらう！一石二鳥の活動が地域全体を支えていることがわかります。



✔ これからのこと

スクールガード活動を始めて約1年が経過。札幌市の「**ながら見守り**」に登録し、見守りバッチを受け取りベストに装着。そうすることで活動がより安心であることが地域に証明されます！これからは、バッチを装着することで七区町内会だけでなく、社会全体を見守ることが出来るようになるため、高齢者が活躍する場が広がり生きがとなること、自分らしく暮らしていく良い機会になればと考えてるそうです！

ここがすごい！ナイスな発想

旗？誘導棒？あえて持ちません！

活動はあくまでも「見守り」の視点！夏冬関係なく見守ってくれている会員さんが道具を持ったまま転倒等をしないよう万全な体制で活動しています。このように地域のことだけでなく、会員さん第一に考えているところ、とってもナイスです！



支え合い活動

地域のため・自分のため

石山地区では、住民同士で声をかけ合い、夏場のボランティアグループを結成しました。主に地域施設が所有する畑の草刈りや手入れ等の整備を行い、地域の子もたちや高齢者など幅広い世代の方が使用しやすくなるよう、活動しています。



自分の住む地域がさらに良くなること、そして自分自身の健康のために、人との繋がりを作るためにと、様々な目的をもって活動されています。このように歳を重ねても挑戦し続ける姿は本当にステキです！



一番は「充実しているか・生きがいになっているか」です。このように地域を通してたくさんの方と交流するこの取り組みこそが、支え合い活動に繋がっていきます！

南沢



地域の支え合いの活動はたくさんの方たちにより、多くの場所で行われています。

芸術の森



藤野



地域の方が自分らしく暮らしていくために、支え合うことが必要なのです。それはお仕事を引退された方だけでなく、若い方や学生さんにもできること。「困っていることありますか？」そう声をかけるだけでも十分なのです。

地域交流

ふれあい・いきいきサロン



芸術の森地区サロン 常盤団地自然の会

すでに活動開始から20年ほど経過されており、人数は減っているものの、「ここに来なくても、住民同士きちんと繋がっている！仲も良い！」とお話を聞き、集まりの場以外でも気にかけている様子を伺うことが出来ました！

老人クラブ



澄川地区 老人クラブ百寿会 のぼり受け渡し

みなみの杜高等支援学校の生徒さんにのぼりを作成していただき、ついに完成しました！老人クラブでは初の試みですが、のぼりを見て参加したいと思う方が増えること、さらに繋がりを増やしていくきっかけとなれば嬉しいです！